



湯山小学校発行 11号 2026.3.24

湯山っ子は湯山小学校の誇り

校長 高月 知代

152周年目の令和7年度卒業生。入学式目前の2月27日、当時の総理大臣による全国一斉臨時休校の発表、御来賓・在校児童不在の入学式、その後も感染症の影響で3年間は制限の中での活動でした。しかし、校訓「よく学び よく遊べ」のもと、学習・運動・行事に、前向きに取り組んできました。そして、最高学年としてのこの一年は、学びの締めくくりをしました。修学旅行先の広島市での平和学習・松山市の掩体壕の語り部に学ぶ会・人権講演会「地球の上に生きる」等において、平和の尊さについて深く学びました。集団登校・縦割り班活動・委員会活動・毎朝の自主清掃・運動会などにおいて、最高学年としての役割・責任を自覚した行動をとることができました。卒業プロジェクトでは、①正門前の植えますに薔薇を植え、②校訓碑近くにゆるキャラガーデンオーナメントを設置し、③「ゆめクッキー」の図案を考え、④下級生と交流遊びを行い、⑤下級生が遠足で出かけている間に、日頃掃除できていないところを掃除するプロジェクトなど、仲間と協力して企画・運営し、わが母校に貢献していく喜びを味わいました。6年生を送る会では、6年生一人一人が日頃から責任を立派に果たし全校のあこがれの存在とされていることが、下学年の感謝いっぱいの表情に表れていました。私にとっても、**「6年生は湯山小学校の誇り」**です。

私は、6年生に「これで完璧！中学数学」の授業を行い、その中で、何事も前向きに吸収していこうとする心の持ちようこそが自分の成長の鍵になることを伝えました。さらに、卒業式において、これからも大切にしてほしい合言葉「ゆやま」を伝えました。

まず、**「ゆめ」**を持つ

次に、**「やる気」**

・自らタイムマネジメントをして、思いきり人生を楽しむ ・社会の中における役割を自覚し責任を果たす

最後に、**「まごごろ」**について

・命あることへ感謝 ・平和で、安全で、学べる日常があることへ感謝 ・自分を支えてくれている人へ感謝

・人権尊重…人の命や心を大切にする

さて、**本校の「ふるさと湯山への誇りの醸成」をテーマに執筆した教育実践論文**が日本教育弘済会愛媛支部論文募集において入賞し、助成金をいただきましたので、**令和6・7年度の卒業プロジェクトをモチーフにしたオリジナル定規**を作成し、卒業式・終業式・新年度入学式において、本校児童に贈呈させていただくことにしました。地域・保護者の皆様のお支えあって、**「ふるさと湯山を誇りに思う、たくましく心豊かな湯山っ子」**をともに育成できている喜びを実感しております。心より御礼申し上げますとともに、今後も本校教育活動へご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

〈一年間の思い出〉

1年生	私の一番の思い出は、漢字が書けるようになったことです。書く数が多い漢字は難しかったけれど、練習して書けるようになりました。2年生の漢字も楽しみです。
2年生	運動会の「ダンス♡きゅんきゅん」が一番心に残っています。元気なダンスができて、みんなを笑顔にできました。九九も全ての段を正確に覚えて、頑張れた2年生でした。
3年生	「がんばれ。」「ファイト！」スタートしたときに、みんなのかけ声が聞こえてきて、やる気が出たマラソン大会。みんなで一生懸命走り切ってうれしかったです。
4年生	僕が一番心に残っているのは、3学期の遠足です。広い公園で、たくさんの友達と思いつき遊びたからです。みんなで花いちもんめや鬼ごっこをしたことが特に楽しかったです。
5年生	ぼくの一番の思い出は、「6年生を送る会」です。たくさん練習して、全力で劇をしたら、みんなに笑ってもらえてとても達成感がありました。今の6年生のようにすてきな6年生になりたいです。
6年生	最高学年として頑張ってきたことで、下学年のたくさんの人から感謝してもらえてとてもうれしかったです。中学校へ行っても、自分たちにできることを考え、頑張っていきたいと思います。
ささのこ	一番心に残ったことは、広島県に行った修学旅行です。お土産に買いたい物がたくさんあったけど、お小遣いの額が決まっていたので、悩みました。友達に相談しながら買いました。